

文章を入力してください。

世界の脱炭素を後押し

真鍋氏ノーベル賞

「環境へ関心高まる」

米プリンストン大上席研究員の真鍋淑郎氏(90)がノーベル物理学賞を受賞することが決まり、自然保護活動に取り組む国内の関係者からは「地球環境への関心が高まる」と祝福の声が上がった。(1面参照)

関係者祝福の声

「地球の温暖化は真鍋さんが予測したように進行している。受賞が地球環境を考慮するきっかけになってほしい」と話すのは「地球温暖化防止高層ネット」(東京)の木村和隆事務局長。真鍋氏の受賞決定を知って「気候変動に関する研究が注目されたい」と意気込みを語った。村はウインタースポーツが盛んだが、積雪量が減少している。真鍋さんの研究が、世界中で「脱炭素」を促す一助となることを願った。

「地球科学が認められた」



スウェーデンのクラフォード賞を受賞し、記者会見に臨む真鍋淑郎氏。米プリンストン大上席研究員。2018年(A.P.共同)

「地球科学が認められた」との言葉を聞いた。米プリンストン大の真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞が授与されたことが決まった。日夜、同じ気候変動分野の専門家から「口々に賞を授与された」と喜ぶ声があふいている。真鍋氏は「受賞は、地球温暖化の予測モデルが認められたことだ」と話している。

精密な気候予測の基盤

「気候変動予測の研究者が、極めて精密な気候予測の基盤を築いてきた」と、真鍋氏が今年ノーベル物理学賞を受賞した。自然科学分野で地球科学がノーベル賞を受賞するのは、1995年から2000年の間に5回にわたる。5年にわたる生成や破壊の仕組みを解明した研究は、初期的な気候変動を予測するモデルに、世界を先駆けて気候変動モデルを開発した。

Table of Nobel Prize winners in Physics from 1949 to 2021. Includes names like Hideki Yukawa, Kenji Tomonaga, and Shinji Manabe.

ノーベル賞 温暖化解明の貢献大だ

人類が直面する危機の回避へ大きく貢献する業績である。今年ノーベル物理学賞で、真鍋淑郎・米プリンストン大上席研究員に愛媛県出身、米国籍の3人の受賞が決まった。日本のノーベル賞受賞は、米国籍取得者も含め2019年の化学賞を受けた吉野彰さんに続き28人目、物理学賞では12人目の栄誉となった。祝福の拍手を送りたい。

真鍋さんの研究は地球上の物理現象の謎に迫る基礎科学だが、人類のこれから命運に直結している。真鍋さんの研究は地球上の物理現象の謎に迫る基礎科学だが、人類のこれから命運に直結している。真鍋さんの研究は地球上の物理現象の謎に迫る基礎科学だが、人類のこれから命運に直結している。

文科政務官に高橋氏

政府は6日の臨時閣議で、岸田文雄内閣の副大臣・政務官を決めた。文科政務官に高橋氏。高橋氏は内閣府副大臣に留任、高橋氏は内閣府副大臣に留任、高橋氏は内閣府副大臣に留任。

Table of cabinet members and government officials, including Prime Minister Kishida Fumio and various ministers.